

令和3年7月27日

市政記者クラブ 様

○調査テーマに関すること：

健康福祉局健康部環境薬務課

担当：西村・林本（972-2658）

○調査概要に関すること：

スポーツ市民局市民生活部広聴課

担当：中根・千田（972-3140）

令和3年度第2回ネット・モニターアンケートの調査結果について

令和3年度第2回ネット・モニターアンケートの結果がまとまりましたので、下記のとおりお知らせします。

記

○ 調査テーマ：名古屋市立八事斎場の再整備について

名古屋市には、現在、名古屋市立八事斎場（天白区）（以下、「八事斎場」という。）と名古屋市立第二斎場（港区）（以下、「第二斎場」という。）という2つの火葬場があります。第二斎場は、平成27年に供用開始した新しい施設ですが、八事斎場は大正4年から供用開始し、昭和45年度に改築して以降、50年経過し老朽化しているため、名古屋市では八事斎場の再整備について検討をしております。

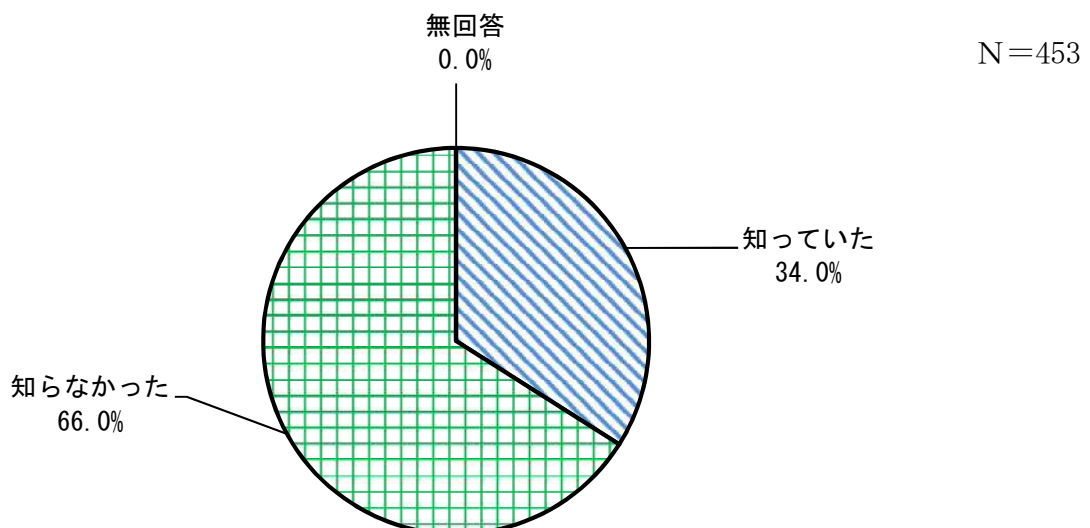
このアンケートは、その検討を進める上で、皆様のご意見や考え方を参考とさせていただくものです。

○ 調査結果（抜粋）

※各図表の「N」は、回答者数を表しています。

■ 八事斎場と第二斎場は、お住いの地域に関わらず、どちらの火葬場でも利用できることを知らなかった人は約7割（Q3）

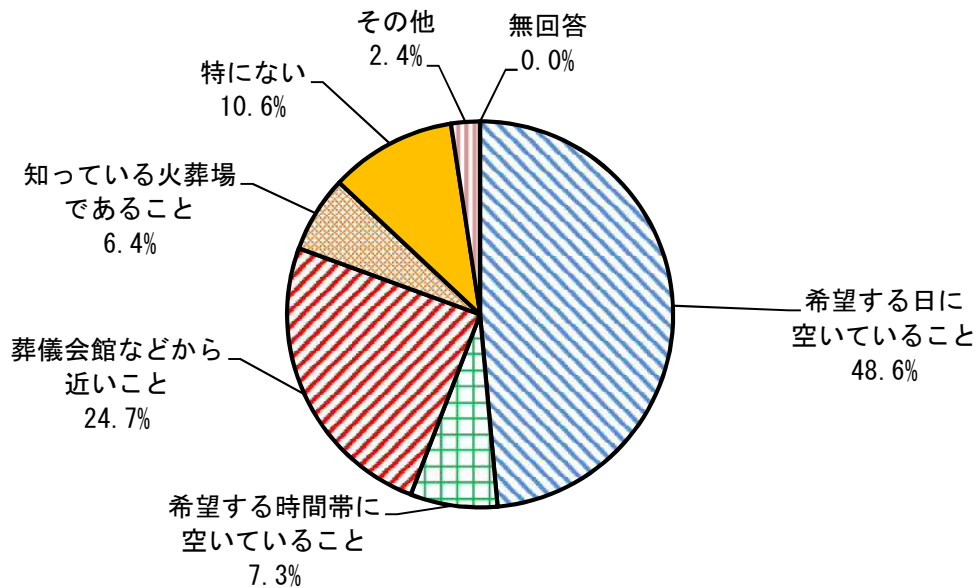
八事斎場と第二斎場は、お住いの地域に関わらず、どちらの火葬場でも利用できることを知っていたかたずねたところ、「知らなかった」と答えた人が66.0%でした。



■ 利用する火葬場を決める際に、最も優先することは「希望する日に空いていること」(Q6)

利用する火葬場を決める際に、最も優先することは何かたずねたところ、「希望する日に空いていること」と答えた人が48.6%で最も多く、次いで「葬儀会館などから近いこと」24.7%でした。

N=453



■ 友引の日に火葬をすることを気にする人は約5割 (Q8)

友引の日に火葬をすることを気にするかたずねたところ、「気にする」と答えた人が17.2%、「どちらかといえば気にする」と答えた人が36.0%で、合わせると、友引の日に火葬をすることを気にする人は53.2%でした。

○ 調査概要

1 ネット・モニターアンケート

500人の市民モニターを公募し、インターネットを活用した調査を実施するもので、今回は令和3年度の第2回目のアンケートです。

2 調査期間

令和3年7月2日(金)～7月12日(月)

3 調査方法

- (1) 対象 市内在住の18歳以上の方で、市政に関心のある方(公募)
- (2) 人数 500人
- (3) 調査方法 インターネットを通じてアンケートに回答
- (4) 回収率 調査対象500人に対して有効回収数453人
有効回収率90.6%
- (5) 質問数 質問13問